

## 西アジア考古学関連学術論文・出版物 (2018年1月～12月)

日本の研究者による西アジア考古学関連の出版物について、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』20号編集委員会

- Akazawa, T. and Y. Nishiaki 2018.7 The Paleolithic Excavations at the Dederiyeh Cave, Afrin Valley (1989-2011). In J. Abdul Massih and S. Nishiyama (eds.), *Archaeological Explorations in Syria 2000-2011. Proceedings of ISCACH-Beirut 2015*, 5-12. Oxford, Archaeopress.
- Akarish, A., A. Shoeib and H. Suita 2018.3 Mural Paintings in Burial Chamber of Mastaba Idout: Cause of Deteriorations, Material Analysis and Conservation Works. In *Final Report of the Center of the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, 39-66. Suita, Kansai University.
- Akarish, A., A. Shueb and H. Suita 2018.3 Mineralogical and Petrographic Characteristics of the Building Material Used in Barbar Temple. In *Final Report of the Center of the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, 183-190. Suita, Kansai University.
- Attia, E. A. E., E. Marinova and M. Baba 2018.8 Archaeobotanical Studies from Hierakonpolis: Evidence for Food Processing During the Predynastic Period in Egypt. In A. M. Mercuri, A. C. D'Andrea, R. Fornaciari and A. Höhn (eds.), *Plants and Humans in the African Past: Progress in African Archaeobotany*, 177-193. Springer International Publishing.
- 安倍雅史 2018.3 「『西アジアトップランナーズセミナー』の開催に関して」『西アジア考古学』19号 75-77頁。
- 安倍雅史 2018.9 「書評 岡田真弓著『イスラエルの文化遺産マネジメント 遺跡の保護と活用』慶応大学出版会、2017年9月、252頁、定価6,500円(税別)」『オリエント』61巻1号 69-73頁。
- 安室喜弘・吹田 浩 2018.3 「イドウトのmastabaにおける修復・保全のための3次元計測に基づいた情報共有」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』113-132頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 安室喜弘・森 直紀・廣瀬 詢・藤里和樹・高橋里緒・壇 寛成・肥後尚・末森 薫・吹田 浩・S. アルマハーリ 2018.3 「写真測量とレーザスキャナにもとづいた文化財の過去と現在の視覚的照合一バルバル神殿を事例として」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』169-182頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- アリシエル, B.・宇野隆夫・A. ベルディムロドフ・G. ボゴモロフ・寺村裕史・村上智見・宇佐美智之 2018.3 「ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡のシタデルを覆う火災層—日本・ウズベキスタン調査隊の発掘調査(2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』62-66頁 日本西アジア考古学会。
- Arimura M., A. Petrosyan, D. Arakelyan, S. Nahapetyan and B. Gasparyan 2018.9 A Preliminary Report on the 2015 and 2017 Field Seasons at the Lernagog-1 Site in Armenia. *Aramazd (Armenian Journal of Near Eastern Studies)* 12(1): 1-18.
- 有村 誠 2018.3 「アルメニアにおける先史文化の系譜を探る—アルマヴィル地域における発掘調査(2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』29-33頁 日本西アジア考古学会。
- 有村 誠 2018.3 「フラミ川流域の新石器時代遺跡(ジョージア)」『平山郁夫シルクロード美術館紀要』3号 3-17頁。
- 有村 誠 2018.5 「キプロス島に移住した新石器集団の起源—移住は考古資料で証明できるか—」『海と考古学』11号 73-92頁。
- 有村元春 2018.3 「エジプト出土のミケーネ土器再考」『エジプト学研究』24号 178-202頁。
- 石渡美江 2018.12 「メルブ出土彩画壺の図像学的研究」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 27-39頁。
- Itahashi, Y., A. Tsuneki, S. Dougherty, Y. Chikaraishi, N. Ohkouchi and M. Yoneda 2018.1 Dining Together: Reconstruction of Neolithic Food Consumption Based on the  $\delta^{15}N$  Values for Individual Amino Acids at Tell el-Kerkh, Northern Levant. *Journal of Archaeological Science: Reports* 17: 775-784. <https://doi.org/10.1016/j.jasrep.2017.12.042>
- Uluçam, A. and Y. Miyake 2018.5 Hasankeyf Höyük Kazısı. In *Batman Müzesi İhsu Barajı Kurtarma Kazıları*, 25-32. Batman, Batman Müze Müdürlüğü.
- Uluçam, A. and Y. Miyake 2018.5 Excavations at Hasankeyf Höyük, Southeast Anatolia. In *Batman Museum İhsu Dam Excavations*, 33-54. Batman, Batman Museum Directorate.
- El-Kholy, S., T. Higo and H. Suita 2018.3 Saqqara Archeological Site and Mastaba Idout: Comprehensive Global Studies of Conservation and Utilization of Cultural Heritage. In *Final Report of the Center of the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, 19-26. Suita, Kansai University.
- 岡 絵理子 2018.3 「臨遺跡集落・サッカラ村の空間構造と暮らし」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』227-244頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 岡 絵理子・中村穂希 2018.3 「臨遺跡集落・サッカラ村の生活と空間構造(その7) —フィナー概念による公共空間の私的利用について—」*The Journal of Center for the Global Study of Cultural Heritage and Culture* 5: 27-23.
- Odaka, T. 2018.10 Neolithic Pottery with Horizontal Applied Bands from Tell el-Kerkh, the Rouj Basin. In A. Gómez-Bach, J. Becker and M. Molist (eds.), *II Workshop on Late Neolithic Ceramics in Ancient Mesopotamia: Pottery in Context*, 25-34. Monografies del MAC 1. Barcelona, Museu d'Arqueologia de Catalunya.
- 小高敬寛 2018.5 「西アジア最古の土器は何に使われたのか?」佐々木幹雄・齋藤正憲(編)『やきもの つくる・うごく・つかう』246-259頁 近代文藝社。

- 小高敬寛 2018.6「マタツラ遺跡(イラク)で採集された新石器時代の土器」『日本西アジア考古学会第23回総会・大会要旨集』53頁 日本西アジア考古学会。
- 小高敬寛・早川裕式・O. ニウウェンハウゼ・S. ミュール 2018.3「新石器化と都市化のはざま—イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の予備調査(2012~17年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』12-16頁 日本西アジア考古学会。
- 小谷伸男 2018.12「バーミアン新出土のキダーラ系金貨」『ヘレニズム〜イスラーム考古学研究』25号 41-48頁。
- Kadowaki, S. 2018.3 Ahmarian or Levantine Aurignacian? Wadi Kharar 16R and New Insights into the Upper Palaeolithic Lithic Technology in the Northeastern Levant. In Y. Nishiaki and T. Akazawa (eds.), *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*, 105-116. Singapore, Springer Nature.
- Kadowaki, S. and E. B. Banning 2018.3 Morphometric and Refitting Analyses of Flaked Stone Artifacts from Tabaqat al-Buma and al-Basatin, Northern Jordan: Sickle Elements and Core-reduction Technology in the Late Neolithic (6th millennium BCE) in the Southern Levant. *Journal of Archaeological Science: Reports* 19: 64-79.
- 門脇誠二 2018.2「レヴァントへの新人拡散と文化動態」『考古学ジャーナル』708 6-10頁。
- 門脇誠二・D. ヘンリー・S. マサデ・廣瀬允人 2018.3「ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態—南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』39-43頁 日本西アジア考古学会。
- 柏木 治 2018.3「フランス19世紀初期における『文明観』とエジプト」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』299-317頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 河合 望・高橋寿光 2018.3「エジプト、サッカー遺跡の新王国時代の墓地を探る—北サッカー遺跡第3次調査(2017)概報—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』104-109頁 日本西アジア考古学会。
- 河合 望・三井 猛・吉村作治・近藤二郎・柏木裕之・高橋寿光・梅田由子・米山由夏・石崎野々花・菅沼奏美 2018.3「第3次北サッカー遺跡調査概報:踏査・測量・探査報告」『エジプト学研究』24号 48-81頁。
- 河合 望・吉村作治・近藤二郎・柏木裕之・高橋寿光・米山由夏・石崎野々花・菅沼奏美 2018.3「第3次北サッカー遺跡調査概報:試掘調査」『エジプト学研究』24号 82-112頁。
- 江江肖刺・安室喜弘・金谷一郎・千葉 史 2018.3「ギザのピラミッドにおける3次元計測調査—エジプト、クフ王の大ピラミッド頂上部のUAV-SFM予備調査(2016-17年度)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』96-99頁 日本西アジア考古学会。
- 川崎英也・河原一樹・中沢 隆・A. シュエイブ・A. アカリシュ・吹田 浩・荒川隆一 2018.3「古代エジプト壁画の彩色層に含まれる有機化合物の質量分析」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』67-76頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 北川浩之・近藤康久・野口 淳・長谷川 精 2018.3「パレオアジア古環境研究ネットワークの構築に向けて」北川浩之(編)『パレオアジア文化史学 計画研究A03 平成29年度研究報告書 アジアにおけるホモ・サピエンス定着期の気候変動と居住環境の  
 解明 平成28年~32年度 文部科学省科学研究費補助金(新学術領域研究)16H06410] PaleoAsia Project Series 12 1-9頁。  
 久保聡子 2018.12「ターキ・プスタン大洞の狩猟図浮彫再考」『ヘレニズム〜イスラーム考古学研究』25号 87-99頁。
- Kume, S. 2018.6 Early Development of Agriculture and Pastoralism in the Tien Shan Mountains and the Fergana Valley. In *The Role of the City of Akhsikent in History of Uzbek Statement: Materials of the International Scientific and Practical Conference*, 80-81. Namangan, Government of Namangan region, Namangan State University and others.
- 久米正吾 2018.7「シルクロードの成り立ちを探る—キルギスとウズベキスタンでの発掘調査—」岡山市立オリエント美術館・古代オリエント博物館(編)『シルクロード新世紀—ヒトが動き、モノが動く—』187頁。
- 黒河内宏昌・吉村作治 2018.3「2017年 太陽の船プロジェクト活動報告」『エジプト学研究』24号 3-10頁。
- 黒沼太一 2018.3「エジプト先王朝時代ナカダ文化期の上エジプトにおける合葬墓」『西アジア考古学』19号 1-16頁。
- 黒沼太一 2018.3「エジプト学の最新研究2017ナポリ大会」『西アジア考古学』19号 57-61頁。
- 桑原久男・河合 望・安倍雅史 2018.3「日本西アジア考古学会設立20周年特別企画に関する報告」『西アジア考古学』19号 79-82頁。
- 桑原久男・山野貴彦・津本英利 2018.3「ガリラヤ最初期のシナゴークを掘る—イスラエル国テル・レヘシユ第11次発掘調査(2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』49-52頁 日本西アジア考古学会。
- Koizumi, T., H. Ojima, H. Yoshida and A. Yoshida 2018.4 A Pyrotechnological Study of Ubaid and Late Chalcolithic Pottery: Estimated Firing Temperatures. In B. Horejs, C. Schwall, V. Müller, M. Luciani, M. Ritter, M. Guidetti, R. B. Salisbury and F. Höfmayr (eds.), *Proceedings of the 10th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Vol. 1*, 131-144. Wiesbaden, Harrassowitz Verlag.
- 小泉龍人 2018.1「イラクの遺跡の現状—メソポタミア文明を訪ねて」『湘南考古学同好会々報』150号 14-20頁。
- 小泉龍人 2018.5「古代西アジアの彩文土器—復元実験と発掘調査—」佐々木幹雄・齋藤正憲(編)『やきもの つくる・うごく・つかう』147-157頁 近代文藝社。
- 小泉龍人 2018.10「南コーカサス周辺におけるワイン文化の考古学的研究」『平成29年度 公益財団法人 たばこ総合研究センター助成研究報告』117-132頁 公益財団法人 たばこ総合研究センター。
- 後藤 健・西藤清秀・安倍雅史・上杉彰紀・原田 怜・岡崎健治・渡部展也・堀岡晴美 2018.3「古代デイルムン王国の起源を求めて—パハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2017—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』72-76頁 日本西アジア考古学会。
- 紺谷亮一・上杉彰紀・山口雄治・下釜和也・千本真生・F. クラックオウル 2018.3「中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて—キュルテベ遺跡北トレンチ発掘調査2017年—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』34-38頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤二郎 2018.3「アル=コーカ地区出土の葬送用コーン—エジプト、アル=コーカ地区第10次(2016-17年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』110-111頁 日本西アジア考古学会。

- 近藤二郎・吉村作治・菊地敬夫・柏木裕之・河合 望・高橋寿光・福田莉紗・米山由夏 2018.3「第10次ルクソール西岸 アル＝コーカ地区調査概報」『エジプト学研究』24号 11-35頁。
- Kondo, Y., A. Noguchi, T. Miki, T. Beuzen-Waller, S. Desruelles and É. Fouache 2018.9 Archaeological Sites in the Wadi Al Kabir Basin, Wilāyāt Iḥri, Adh Dhahirah Governorate. *The Journal of Oman Studies* 19: 101-127.
- Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W. -L. Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, Y. Nishiaki and M. Yoneda 2018.3 Ecological Niche and Least-cost Path Analyses to Estimate Optimal Migration Routes of Initial Upper Palaeolithic Populations to Eurasia. In Y. Nishiaki and T. Akazawa (eds.), *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*, 199-212. Singapore, Springer Nature.
- 近藤康久 2018.2「古代文明マガン：オマーン伝統文化の礎」松尾昌樹（編）『オマーンを知るための55章』74-79頁 明石書店。
- 近藤康久 2018.6「パート遺跡群にみるマガン社会の諸相」『日本西アジア考古学会第23回総会・大会要旨集』10-11頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤康久・小口 高・早川裕之・片岡香子・三木健裕・黒沼太一 2018.2「オマーンにおけるステークホルダーとの協働による自然・文化遺産地理情報基盤の構築」『学術研究助成報告集』3集 163-176頁 公益財団法人国土地理協会。
- 近藤康久・野口 淳・田村光平・中村光宏・北川浩之 2018.11「PaleoAsia DB ハッカソン」西秋良宏・野口 淳（編）『第6回研究大会パレオアジア文化史学：アジア新人文化形成プロセスの総合的研究』PaleoAsia Project Series 16 8-9頁。
- 近藤康久・野口 淳・三木健裕・黒沼太一・北川浩之 2018.5「オマーンにおける先史遺跡調査：ワディ・タヌーフ1号洞穴の発見」藤木利之・北川浩之（編）『第5回研究大会 パレオアジア文化史学：アジア新人文化形成プロセスの総合的研究』PaleoAsia Project Series 13 83-84頁。
- 近藤康久・三木健裕・黒沼太一・野口 淳・北川浩之 2018.3「アラビア半島におけるホモ・サピエンスの定着：オマーンでの予備調査（第2報）」『パレオアジア古環境研究ネットワークの構築に向けて』北川浩之（編）『パレオアジア文化史学 計画研究A03 平成29年度研究報告書 アジアにおけるホモ・サピエンス定着期の気候変動と居住環境の解明 平成28年～32年度文部科学省科学研究費補助金（新学術領域研究）16H06410』PaleoAsia Project Series 12 44-45頁。
- 西藤清秀・山本孝文・飯島武次・田畑幸嗣・出穂雅実・白杵 勲・千本真生・佐々木憲一・寺崎秀一郎・岡村勝行・溝口孝司 2018.10「日本考古学の国際化」『日本考古学』47号 121-134頁。
- 西藤清秀・吉村和昭・上杉彰紀・渡部展也・門田哲待・田邊 好 2018.3「バハレーンで古墳を掘る—バハレーン、マカバ古墳群第1号墳第一次調査2017—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』82-85頁 日本西アジア考古学会。
- Sakamoto, T. 2018.9 Meroitic Cemetery 100 of Gammai and its Historical Background. In M. Honegger (ed.), *Nubian Archaeology in the XXIst Century: Proceedings of the Thirteenth International Conference for Nubian Studies, Neuchâtel, 1st-6th September 2014*, 571-580. Orientalia Lovaniensia Analecta 273. Leuven, Peeters.
- Sakamoto, T. 2018.10 Mutsuo Kawatoko (1948-2018). *Sudan & Nubia: The Sudan Archaeological Research Society Bulletin* 22: 200.
- Sakamoto, T. 2018.10 Madoka Suzuki (1945-2018): le parcours d'une égyptologue. *CIPEG Journal: Ancient Egyptian & Sudanese Collections and Museums* 2: 1-2.
- Sakamoto, T. 2018.11 Chronologie révisée des cimetières royaux de Nobadia. *Göttinger Miszellen: Beiträge zur ägyptologischen Diskussion* 256: 143-156.
- 坂本 翼 2018.2「ヌビア遺跡救済運動と鈴木八司先生—ある先駆者の生涯—」『貝塚』73号 17-20頁。
- 坂本 翼 2018.3「王家埋葬地から見たクシュの歴史的諸問題」『西アジア考古学』19号 47-56頁。
- 坂本 翼 2018.3「書評 京都大学大学院文学研究科考古学専修、京都大学総合博物館編『京都大学総合博物館考古学資料目録—エジプト出土資料—』」『西アジア考古学』19号 71-73頁。
- 坂本 翼 2018.3「メロエの衰退をめぐる研究の現状と課題」『エジプト学研究』24号 229-241頁。
- 坂本 翼 2018.3「スーダン考古学文献解題—我が国の学問的歩みを理解するために—」『エジプト学研究』24号 242-250頁。
- 坂本 翼 2018.6「スーダン考古学史—近代化と文化遺産の狭間で—」『古代文化』70巻1号 101-107頁。
- 坂本 翼 2018.6「三笠宮崇仁親王殿下とヌビア文化遺産」『古代文化』70巻1号 107-108頁。
- 坂本 翼 2018.9「早稲田中学と「エジプト学」」『早稲田中・高等学校校友会会報』142号 15-16頁。
- 坂本 翼 2018.11「メロエ王国縁辺域の基礎的解明—スーダン・ハルツーム北部の考古学的調査をもとに—」『高梨学術奨励基金年報平成29年度研究成果概要報告』40-45頁。
- 坂本 翼 2018.12「新刊紹介 Olivier Cabon et al. Histoire et civilisations du Soudan: de la préhistoire à nos jours」『アフリカ研究』94号 92-93頁。
- 佐々木達夫 2018.3「アルカーンの発掘2017年—アラビア半島の近世漁村—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』77-81頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2018.12「アル・ミドゥファ・モスクとバニヤン倉庫の発掘—アラブ首長国連邦シャルジャのアル・アルサ・スーク隣接地2018年—」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 123-153頁。
- 柴田広志 2018.12「ヘレニズム君主の接触と外交—アンティオコス3世の対外交渉—」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 81-86頁。
- 清水麻里奈 2018.12「サッカラ地区イセウムの遺構分析」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 71-80頁。
- Shimogama, K. 2018.3 The Japanese Excavations at Tell Ali al-Hajj, Rumeilah, on the Euphrates: Settlement, Material Culture and Chronology. In B. Horejs, Ch. Schwall, V. Müller, M. Luciani, M. Ritter, M. Giudetti, R. B. Salisbury, F. Höflmayer and T. Bürge (eds.), *Proceedings of the 10th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Vol. 2*, 627-638. Wiesbaden, Harrassowitz Verlag.
- 下釜和也 2018.9「ユーラシア石器の道、農耕牧畜の道、土器の道」岡山市立オリエント美術館・古代オリエント博物館（編）『シルクロード新世紀—ヒトが動き、モノが動く—』32-33頁。
- 下釜和也・四角隆二 2018.9「変貌するシルクロード像と新世紀のシルクロード」岡山市立オリエント美術館・古代オリエント博物館（編）『シルクロード新世紀—ヒトが動き、モノが動く—』5-7頁。
- 城倉正祥・山藤正敏・ナワビ矢麻・伝田郁夫・山内和也・B. アマン

- バエヴァ 2018.10 「キルギス共和国アク・ベシム遺跡の発掘(2015年秋期) 調査出土遺物の研究—土器・瓦編—」『Waseda Rilias Journal』6号 205-257頁。
- Shirai, N. 2018.3 Book Review of S. Holdaway and W. Wendrich (eds.), *The Desert Fayum Reinvestigated: The Early to Mid-Holocene Landscape Archaeology of the Fayum North Shore, Egypt* (Cotsen Institute of Archaeology Press, Los Angeles, 2017). *Azania: Archaeological Research in Africa* 53(1): 130-132.
- Shirai, N. 2018.11 New light on *The Desert Fayum*: Restudying Gertrude Caton-Thompson's Fayum Lithic Collections in London. In J. Kabacinski, M. Chrodnicki, M. Kobusiewicz and M. Winiarska-Kabacinska (eds.), *Desert and the Nile: Prehistory of the Nile Basin and the Sahara: Papers in Honour of Fred Wendorf*, 603-619. Poznan, Poznan Archaeological Museum.
- Suita, H., K. Suemori, T. Higo and S. Almahari 2018.3 Survey of Current Conditions and Environment of Barbar Temple. In *Final Report of the Center of the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, 157-168. Suita, Kansai University.
- 吹田 浩・末森 薫・肥後時尙・S. アルマハーリ 2018.3 「バルバル神殿における文化遺産の保護を目的とした現状調査および環境調査」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』145-155頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 末森 薫・吹田 浩・西浦忠輝・伊藤淳志・鶴田浩章・安室喜弘・肥後時尙・A. シュエイブ・M. マンスール・A. アカリシュ・S. アルマハリ 2018.7 「パーレーン王国、バルバル神殿遺跡の保存・活用を目的とした調査」『日本文化財科学会第35回大会研究発表要旨集』264-265頁 日本文化財科学会。
- 杉本智俊・菊池 実・渡部展也・稲野裕介・間舎裕生 2018.9 「2017年度ベイティン遺跡(パレスチナ自治区)における考古学的発掘調査」『史学』87巻4号 73-111頁。
- 杉本智俊・渡部展也・菊池 実・稲野裕介・間舎裕生 2018.3 「パレスチナにおける十字軍期の農業集落—パレスチナ自治区ベイティン遺跡第6次考古学的調査(2017年度)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』53-57頁 日本西アジア考古学会。
- 須藤寛史 2018.3 「中央アナトリア、キュルテベ遺跡のカナアン石刃」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』31巻 33-44頁。
- 千本真生 2018.8 「チャドヴォ遺跡(ブルガリア)の発掘調査—5000年前の集落を探る—」『Oriente』57号 14-19頁。
- 千本真生 2018.11 「青銅器時代バルカン半島における縄目土器の起源と拡散に関する基礎的研究(2)—黒海北西岸域の資料を対象にして—」『高梨学術奨励基金年報:平成29年度研究成果報告』84-91頁 公益財団法人高梨学術奨励基金。
- 高橋寿光 2018.3 「エジプト、ルクソール西岸アル=コーカ地区、ウセルハト墓上部の石灰岩チップ層から出土した新王国時代の土器群について」『オリエント』60巻2号 184-195頁。
- 田辺勝美 2018.12 「シャープールドウフタク王妃ではなくアナーヒター女神—ナクシェ・ルスタムのナルセー王叙任式図浮彫の女性像の比定—」『ヘレニズム〜イスラーム考古学研究』25号 9-26頁。
- 丹野研一・藤島 文・有村 誠 2018.3 「アルメニアの野生コムギ種と農耕起源」『西アジア考古学』19号 35-45頁。
- 辻 成史 2018.12 「聖地としてのエリュデニズの風景」『ヘレニズム〜イスラーム考古学研究』25号 101-111頁。
- Tsuneki, A. 2018.3 "Symposium: Saving the Cultural Heritage for the Next Generation", Opening Remarks. In K. Saito and T. Sugiyama (eds.), *Proceedings and Report of the Conference "Saving the Syrian Cultural Heritage for the Next Generation: Palmyra, A Message from Nara"*, 111-113. The Executive Committee of the Silk Road Friendship Project. Kashihara, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture.
- Tsuneki, A. 2018.4 Difference in Occupation and Violence by Gender in the Kerkh Neolithic Society, Northwestern Syria. In *11th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Abstracts*, 188. April 3-7, 2018. Munich, Ludwig-Maximilians-Universität München.
- Tsuneki, A. 2018.7 *How is the Syrian Archaeology Important for the World History, Syria in Prehistory*. The Preservation for Syrian Cultural Heritage. Tsukuba, University of Tsukuba. (in Arabic)
- Tsuneki, A. 2018.7 Tell el-Kerkh, A Neolithic Mega Site in the Province of Idlib. In J. Abdul Massih and S. Nishiyama (eds.), *Archaeological Explorations in Syria 2000-2011. Proceedings of ISCAH-Beirut 2015*, 267-282. Oxford, Archaeopress Archaeology.
- Tsuneki, A., N. Watanabe, S. Jammo and M. Takizawa 2018.3 *Al-Bara: A Series of Photogrammetry for Protection of Syrian Cultural Heritage, Ancient Village of Northern Syria Vol. 2*. Research Center for West Asian Civilization. Tsukuba, University of Tsukuba.
- 常木 晃 2018.2 「第1章2:ホモ・サピエンスの一地域新仮説」「第1章3:ホモ・サピエンスの出アフリカをめぐる二つのルート」「第1章4:ザグロス山脈の重要性」「第2章:西アジア・ザグロス山脈の考古学」久田健一郎(編)『アフリカを脱出した人類最初の奇跡—西アジア・ザグロスの考古地質学—』11-19・20-56頁 愛智出版。
- 常木 晃 2018.3 「岩崎卓也先生のご逝去を悼む」『西アジア考古学』19号 87-88頁。
- 常木 晃・渡部展也・安間 了・西山伸一・R. K. サリ 2018.3 「肥沃な三日月地帯東部の新石器化—イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡・トゥルカカ遺跡の調査(2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』8-11頁 日本西アジア考古学会。
- Tsuruta, H., Y. Nakamura, A. Ito, T. Higo, H. Suita and A. Shoenib 2018.3 Strengthening Counter-Measures and Quality Estimation of Bedrocks in Burial Chamber of Mastaba Idout, In *Final Report of the Center of the Global Study of Cultural Heritage and Culture*, 101-111. Suita, Kansai University.
- 鶴田浩章・中村吉伸・伊藤淳志・肥後時尙・吹田 浩 2018.3 「イドウートのマスタバ地下埋葬室における岩盤等の補強対策と品質評価」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』91-100頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 鶴田浩章・肥後時尙・伊藤淳志・吹田 浩 2018.3 「バルバル神殿およびアル・ハミース・モスクにおける岩石や岩石ブロックの品質評価」関西大学国際文化財・文化研究センター(編)『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』191-198頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- Nishiaki, Y. 2018.3 Initial Upper Paleolithic Elements of the Keoue Cave, Lebanon. In Y. Nishiaki and T. Akazawa (eds.), *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*, 71-86. Singapore, Springer Nature.
- Nishiaki, Y. 2018.3 The Late Halafian Lithic Industry from Tell Kashkashok I, the Upper Khabur, Syria. *Oriente* 53: 1-21.
- Nishiaki, Y. 2018.7 The Pre-Pottery to Pottery Neolithic Settlement of Tell Seker al-Aheimar, Hassake, Upper Mesopotamia. In J. Abdul

- Massih and S. Nishiyama (eds.), *Archaeological Explorations in Syria 2000-2011. Proceedings of ISCACH-Beirut 2015*, 125-132. Oxford, Archaeopress.
- Nishiaki, Y. and T. Akazawa 2018.3 Archaeological Issues on the Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond. In Y. Nishiaki and T. Akazawa (eds.), *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*, 1-8. Singapore, Springer Nature.
- Nishiaki, Y. and T. Akazawa (eds.) 2018.3 *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*. Singapore, Springer Nature.
- Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, A. Rajabov, B. Sayfullayev, H. Nakata, S. Arai and C. Akashi 2018.3 Prehistoric Caves and Rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan. *Al-Rāfidān* 39: 31-41.
- Nishiaki, Y. and H. Darabi 2018 The Earliest Neolithic Lithic Industries of the Central Zagros: New Evidence from East Chia Sabz, Western Iran. *Archaeological Research in Asia*. <https://doi.org/10.1016/j.ara.2018.02.002>.
- Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki and T. Omori 2018.4 Neolithic Residential Patterns in the Southern Caucasus: Radiocarbon Analysis of Rebuilding Cycles of Mudbrick Architecture at Göytepe, West Azerbaijan. *Quaternary International* 474: 119-130.
- Nishiaki, Y., M. H. Taheri and A. Sardari 2018 Lithic Industry of the Early Chalcolithic in the Southern Zagros: New Insights from the Middle Bakun Site of Tal-e Mash Karim, Iran. *Ancient Near Eastern Studies* 55: 125-141.
- 西秋良宏 2018.2 「ユーラシア大陸旧石器時代の時期区分」『考古学ジャーナル』708 1頁。
- 西秋良宏 2018.3 「野外調査の方法と実際」早乙女雅博・設楽博巳（編）『新訂考古学』23-42頁 放送大学教育振興会。
- 西秋良宏 2018.3 「海外の考古学—西アジア」早乙女雅博・設楽博巳（編）『新訂考古学』261-280頁 放送大学教育振興会。
- 西秋良宏（編）2018.3 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築2』「パレオアジア」A01班2017年度研究報告。
- 西秋良宏 2018.9 「飼い猫の始まり—遺跡が伝える新石器時代の人猫交流」『淡青』37号 18頁。
- 西秋良宏 2018.9 「先史シルクロードのネアンデルタールとホモ・サピエンス」岡山市立オリエント美術館・古代オリエント博物館（編）『シルクロード新世紀—ヒトが動き、モノが動く—』22-23頁。
- 西秋良宏 2018.9 「東京大学のユーラシア調査」岡山市立オリエント美術館・古代オリエント博物館（編）『シルクロード新世紀—ヒトが動き、モノが動く—』184頁。
- 西秋良宏・O. アリブジャンフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・仲田大人 2018.3 「北ユーラシアの旧人・新人交代劇—第5次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2017年）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』58-61頁 日本西アジア考古学会。
- 西秋良宏・A. ゼイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井才二・池山史華 2018.3 「南コーカサス地方の新石器時代—第10次発掘調査（2017年）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』22-24頁 日本西アジア考古学会。
- 西山伸一・H. H. アブドゥラー・常木 晃・山田重郎・沼本宏俊 2018.3 「アッシリア帝国東部辺境を掘る—イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト第2次（2017年）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』17-21頁 日本西アジア考古学会。
- 西浦忠輝 2018.3 「サッカラ地域の気象環境とイドゥート・マスタバ地下埋葬室の環境」関西大学国際文化財・文化研究センター（編）『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』31-37頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 西浦忠輝・吹田 浩・吹田真里子・伊藤淳志・西形達明・鶴田浩章・安室喜弘・末森 薫・肥後尚・澤田正昭・中村吉伸・岡岩太郎・A. シュエイブ・A. アカリシュ 2018.6 「エジプト・サッカラ地域、イドゥートのマスタバ古代壁画の保存修復：国際プロジェクト15年間の成果と課題」『文化財保存修復学会大会第40回大会研究発表要旨集』58-59頁 文化財保存修復学会。
- 西浦忠輝・吹田 浩・吹田真里子・末森 薫・岡岩太郎・澤田正昭・A. シュエイブ 2018.6 「古代エジプト壁画の剥ぎ取り保存：布海苔を用いた表打ち技法の応用と評価」『文化財保存修復学会大会第40回大会研究発表要旨集』222-223頁 文化財保存修復学会。
- 西浦忠輝・西形達明・伊藤淳志・鶴田浩章・吹田 浩・中村吉伸・沢田正昭・A. アカリシュ・A. シュエイブ 2018.7 「エジプト・サッカラ地域、イドゥートのマスタバ地下埋葬室における岩盤強化および壁面の補強」『日本文化財科学会第35回大会研究発表要旨集』12-13頁 日本文化財科学会。
- 西山伸一・J. アブドゥル=マッシーハ 2018.3 「レヴァント回廊の歴史を探る—レバノン・ベカー高原南部考古学プロジェクト・第3次（2017年）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』44-48頁 日本西アジア考古学会。
- Numoto, H., D. Shibata and S. Yamada 2018.7 Excavations at Tell Taban: Culture and History at Ṭābatum/Ṭābetu during the Second Millennium B.C. In S. Nishiyama and J. Abdul Massih (eds.), *Archaeological Explorations in Syria 2000-2011. Proceedings of ISCACH-Beirut 2015*, 133-144. Oxford, Archaeopress.
- Hasegawa, S., H. Kuwabara and Y. Paz 2018.1 Tel Rekhesh 2015: Preliminary Report. *Hadashot Arkheologiyot* 130. (On web)
- Hasegawa, S., C. Levin and K. Radner (eds.) 2018.11 *The Last Days of the Kingdom of Israel*. Beihefte zur Zeitschrift für die alttestamentliche Wissenschaft 511. Berlin/Boston, Walter de Gruyter GmbH.
- Hasegawa, S. 2018.11 The Last Days of the Northern Kingdom of Israel. Introducing the Proceedings of a Multi-Disciplinary Conference. In S. Hasegawa, C. Levin and K. Radner (eds.), *The Last Days of the Kingdom of Israel*, 1-14. Berlin/Boston, Walter de Gruyter GmbH.
- 長谷川修一 2018.2 「高校世界史教科書の古代イスラエル記述」長谷川修一・小澤 実（編著）『歴史学者と読む高校世界史—教科書記述の舞台裏』3-23頁 勁草書房。
- 長谷川修一 2018.6 「『古代イスラエル』—「一神教」的信仰前史を再考する」柴田大輔・中町信孝（編）『イスラームは特殊か 西アジアの宗教と政治の系譜』101-129頁 勁草書房。
- 長谷川修一 2018.12 『謎解き 聖書物語』筑摩書房。
- 長谷川修一 2018.12 「遺跡が語る聖書の世界1 住まい」『福音と世界』2019年1月号 66-71頁。
- 長谷川修一・小澤 実（編著）2018.6 『歴史学者と読む高校世界史—教科書記述の舞台裏』勁草書房。
- 長谷川修一 2018.10 「考古学と《希伯来語圣经》的关系」『圣经文学研究』17輯 127-151頁 (The Relationship between Archaeology and the Hebrew Bible. *Journal for the Study of Biblical Literature* 17)。
- 長谷川 奏 2018.3 「川床睦夫氏を偲ぶ」『西アジア考古学』19号 83-85頁。

- 長谷川 奏 2018.3 「エジプト西方デルタ・イドゥク湖南域の考古学調査 (2017) —コーム・アル=ディバーウ遺跡北丘陵の探査—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』112-116頁 日本西アジア考古学会。
- 長谷川 奏・徳永里砂 2018.3 「サウジアラビア紅海沿岸第1次踏査 (2017) —ハウラー遺跡とその後背地—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』86-90頁 日本西アジア考古学会。
- 馬場匡浩 2018.3 「王朝成立以前の専門化の発展—エジプト、ヒエラコンポリス遺跡 HK11C 地区の発掘調査—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』91-95頁 日本西アジア考古学会。
- 馬場匡浩 2018.5 「ナイルをうごくワインの壺」齋藤正憲・佐々木幹雄 (編) 『やきもの：つくる・うごく・つかう』229-243頁 近代文藝社。
- 浜本隆志 2018.3 「エジプト文明の源流とユーラシア—研究の総括—」関西大学国際文化財・文化研究センター (編) 『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』295-298頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 肥後時尙・安室喜弘・吹田 浩 2018.3 「イドゥートのマスタバにおけるレリーフの復元と再解釈」関西大学国際文化財・文化研究センター (編) 『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』133-142頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- Fujii, S. 2018.8 Bridging the Enclosure and the Tower Tomb: New Insights from the Wadi al-Sharma Sites, North-west Arabia. *Proceedings of Seminar for Arabian Studies* 48: 83-98.
- Fujii, S. 2018.10 Harrat Juhayra. *Archeology in Jordan Newsletter: 2016 and 2017 Seasons*. American Center of Oriental Research.
- Fujii, S. 2018.11 Badia Neolithization in Southern Jordan: A Brief Review from Current Research in the Jafr Basin. In Z. al-Salameen (ed.), *Proceedings of the First Conference on the Archaeology and Tourism of the Ma'an Governorate*, 105-124. Wadi Musa, Hussein Bin-Talal University.
- Fujii, S., T. Adachi and K. Nagaya 2018.10 Jabal Juhayra, 2014-2015: Excavations of the Post-PPNB Settlement. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 59: 193-215.
- Fujii, S., T. Adachi, M. Yamafuji and K. Nagaya 2018.10 Tor Ghuwayr 1-3: Surveys and Excavations of Tailed Tower Tombs in the Northeastern Edge of the Jafr Basin, Southern Jordan. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 59: 217-234.
- 藤井純夫 2018.3 「食料生産革命とレジリエンス」奈良由美子・稲村哲也 (編) 『レジリエンスの諸相』95-110頁 放送大学教育振興会。
- 藤井純夫・足立拓朗・長屋憲慶 2018.3 「ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化：ハラアト・ジュハイラ遺跡群の第3～4次発掘調査 (2017年)」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』117-121頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫・足立拓朗・長屋憲慶 2018.3 「アラビア半島の遊牧化：ワディ・ムハラック、ワディ・グバイ遺跡群の第1～2次発掘調査 (2018年)」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』122-127頁 日本西アジア考古学会。
- 藤澤綾乃 2018.2 「紀元2～3世紀の東地中海地域におけるシナゴークの建設—考古学的遺構とユダヤ碑文の分析に基づいて—」『史学』87巻3号 89-116頁。
- Petrosyan A., M. Arimura and B. Gasparyan 2018.9 Some Notes on Lithic Materials from Tsaghkunk, a Neolithic-Chalcolithic Site in the Ararat plain. *Aramazd (Armenian Journal of Near Eastern Studies)* 12(1): 35-50.
- Beuzen-Waller, T., F. Stock and Y. Kondo 2018.7. Geoarchaeology: A Toolbox for Revealing Latent Data in Sedimentological and Archaeological Records. *Quaternary International* 483: 1-4. <https://doi.org/10.1016/j.quaint.2018.05.029>.
- 堀岡晴美 2018.3 「マルトゥによるベルシャ湾交易参入—前3千年紀～前2千年紀初頭文献史料・考古資料に基づく考察—」『西アジア考古学』19号 17-34頁。
- 堀岡晴美 2018.12 「アラブの女王とアッシリア—アラビア交易をめぐる関係—」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 105-115頁。
- Bonnet, C.・関広尚世 2018.3 「スーダン共和国 ケルマ遺跡」『考古学研究』64巻4号 113-116頁。
- Maeda, O. 2018.2 Lithic Analysis and the Transition to the Neolithic in the Upper Tigris Valley: Recent Excavations at Hasankeyf Höyük. *Antiquity* 92(361): 56-73.
- 前田 修 2018.5 「イギリスの大学における考古学研究環境」『考古学ジャーナル』711 33-35頁。
- 前田 修 2018.6 「石器の加熱処理にみる新石器時代の技術運用」『日本西アジア考古学会第23回総会・大会要旨集』28-29頁 日本西アジア考古学会。
- 牧野真理子 2018.3 「国際会議「シリア世界遺産の次世代への継承を目指して—パルミラ 奈良からのメッセージ—」に参加して」『西アジア考古学』19号 63-70頁。
- 松尾登史子 2018.12 「古代マケドニアにおけるアフロディテ信仰」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 1-8頁。
- 三宅 裕 2018.3 「初期定住集落の姿を探る—トルコ、ハッサンケイフ・ホヌック遺跡第5次調査 (2017年)—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』25-28頁 日本西アジア考古学会。
- 宮坂 朋 2018.12 「古代末期におけるモニュメンタルな残虐場面」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究』25号 49-70頁。
- 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・松崎浩之・西秋良宏 2018.11 「土器残存脂質からみた南コーカサス初期農耕民の土器利用」『日本植生史学会第33回大会講演要旨集』17-18頁 日本植生史学会。
- 村山上由美子・横山 操・関広尚世 2018.8 「総合博物館コレクション研究〈3〉エジプト考古資料の調査—資料目録刊行後の研究成果から—」『京都大学総合博物館ニュースレター』43 4-5頁。
- Motuzaitė Matuzeviciute, G., A. Abdykhanova, S. Kume, Y. Nishiaki and K. Kubatbek Tabaldiev 2018.8 The Effect of Geographical Margins on Cereal Grain Size Variation: Case Study for Highlands of Kyrgyzstan. *Journal of Archaeological Science: Reports* 20: 400-410.
- 森 貴史 2018.3 「ドイツでエジプト古美術品を展示する—ベルリン、ミュンヘン、ヒルデスハイムのエジプト博物館—」関西大学国際文化財・文化研究センター (編) 『国際的な文化遺産の保存活用に関する総合的研究』281-293頁 関西大学国際文化財・文化研究センター最終報告書。
- 森 直紀・廣瀬 詢・藤里和樹・高橋里緒・壇 寛成・肥後時尙・末森 薫・吹田 浩・安室喜弘 2018.3 「写真測量とレーザー स्क्यानにもとづいた文化財の過去と現在の視覚的照合」*The Journal of Center for the Global Study of Cultural Heritage and*

- Culture* 5: 49-61.
- 矢澤 健・吉村作治 2018.3「紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷をさぐる—ダハシュール北遺跡第24次調査（2017）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』100-103頁 日本西アジア考古学会。
- 山内和也・櫛原功一・望月秀和 2018.3「中央アジア、シルクロード拠点都市の成立とその展開—キルギス共和国、アク・ベシム（スイヤブ）遺跡の調査（2017年度）—」『第25回西アジア発掘調査報告会報告集 平成29年度考古学が語る古代オリエント』67-71頁 日本西アジア考古学会。
- 山崎世理愛 2018.3「エジプト中王国・新王国時代におけるベクトラルの副葬にみられる変化—ダハシュール北遺跡出土資料を用いた考察—」『エジプト学研究』24号 203-228頁。
- Yamada, S. 2018 Neo-Assyrian Eponym Lists and Eponym Chronicles: Contents, Stylistic Variants and Their Historical-ideological Background. In S. Fink and R. Rollinger (eds.), *Conceptualizing Past, Present and Future: Proceedings of the Ninth Symposium of the Melammu Project Held in Helsinki / Tartu, May 18-24, 2015*, 75-96. Münster, Ugarit Verlag.
- 山田重郎 2018.5「楔形文字」大城道則（編）『図説 古代文字入門』18-26頁 河出書房新社。
- 山田重郎 2018.6「ネブカドネザルとバビロン」『聖書の世界』26号 3-12頁。
- Yamafuji, M. 2018.3 Subsistence Systems in a Semi-Arid Zone: Late Early Bronze Age (EBA) Self-Sustenance of the Copper Production Centre in Faynan Region, Southern Jordan. In B. Horejs, Ch. Schwall, V. Müller, M. Luciani, M. Ritter, M. Giudetti, R. B. Salisbury, F. Höflmayer and T. Bürge (eds.), *Proceedings of the 10th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Vol. 2*, 431-446. Wiesbaden, Harrassowitz Verlag.
- 山藤正敏 2018.12「紛争下の文化遺産—復元を考える」『民博通信』163号 16-17頁。
- Yoshimura, S., M. Baba, K. Yazawa, R. Jaeschke and M. Uda 2018.3 Intact Middle Kingdom Anthropoid Coffin of Sobekhat from Dahshur North: Discovery, Conservation and X-Ray Analysis. 『エジプト学研究』24号 158-177頁。
- 吉村作治・河合 望・近藤二郎・柏木裕之・苅谷浩子・高橋寿光・米山由夏・石崎野々花・菅沼奏美 2018.3「第26次アブ・シール南丘陵遺跡調査概報」『エジプト学研究』24号 36-47頁。
- 吉村作治・矢澤 健・近藤二郎・柏木裕之・山崎世理愛・石崎野々花・有村元春 2018.3「エジプト ダハシュール北遺跡調査報告—第24次発掘調査—」『エジプト学研究』24号 113-157頁。
- 和田浩一郎 2018.3「古代エジプトの集落内埋葬—子供の事例を中心に—」『オリエント』60巻2号 141-156頁。
- Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals and M. Vaquero 2018.4 Time Uncertainty, Site Formation Processes, and Human Behaviours: New Insights on Old Issues in High-resolution Archaeology. *Quaternary International* 474: 99-102.
- Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals and M. Vaquero (eds.) 2018.4 Multidisciplinary Approaches in the Definition of High-resolution Events to Interpret Past Human Behaviour: A New Challenge in Archaeology. *Quaternary International* 474: 99-194.

